

第一回 みやぎリハビリテーション合同カンファランス プログラム

この度、リハビリテーション専攻医の育成をみやぎ地域全体で支援するための合同カンファランスを開催します。専攻医や若手専門医による症例提示を主体とし、自由に議論する場としたいと思います。地方会に向けての予演会として、また専攻医の学びの場であるとともに、指導医間の交流も兼ねたいと思っています。本カンファランスが、宮城県におけるリハビリテーション医学教育のさらなる発展の一助となることを願っております。

■ 開催概要

日時: 2026年2月10日(火) 18:00~19:30

場所: 東北大学病院 臨床中講堂 (臨床講義棟2階: 下記リンク A21 の建物)

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/seiryo/areaa.html>

18:00 開会のごあいさつ 海老原覚先生

18:05-18:50 セッション1 座長 宮城翠先生

症例検討1 大屋博充先生 (発表7分、質疑3分)

「高齢者両下腿開放骨折に対し全荷重を目標とした骨接合と長期リハビリテーションにより杖歩行を獲得した1例」

症例検討2 今泉祐樹先生 (発表5分、質疑3分)

「虚血性下肢切断患者に対する義足作成と皮膚管理の一例」

症例検討3 伊東泰輝先生 (発表質疑あわせて15分)

「神経疾患へのインソールの即時的/持続的影響の検討」

症例検討4 芝崎真人先生 (発表5分、質疑3分)

「先天性絞扼輪症候群に合併した右股関節拘縮・左下腿切断例に対して右坐骨支持装具・左下腿義足を用いて歩行可能になった1例」

18:50-19:25 セッション2 座長 三浦平寛先生

臨床研究1 鈴木直輝 (発表10分、質疑5分)

「両上肢単関節/歩行型腰タイプ HAL を用いた臨床研究のこころみ」

臨床研究2 小畑景祐先生 (発表10分、質疑5分)

「下肢切断者の歩行獲得と骨格筋量および質との関連に関する後方視的観察研究」

19:25-19:30 閉会のごあいさつ 藤原大先生

■ 懇親会

20:00~22:00 国分町の隠れ家ダイニング'oa'oa ~オアオア~

<https://t899800.gorp.jp/> 24名参加予定

乾杯のご挨拶 小川佳子先生 締めのご挨拶 岡崎達馬先生

■ 発表について

主に専攻医が発表(1施設2例まで)

診療方針に悩む症例、SEA(Significant Event Analysis)、教育的な症例、臨床研究など内容は自由

発表時間は発表者の希望に応じて柔軟に個別設定(発表3~15分、質疑3~10分)

発表スライドや専門医症例レポート形式のハンドアウトの配布も推奨



【事務局連絡先】 東北大学大学院医学系研究科 臨床障害学 鈴木直輝

E-mail : naoki.suzuki.e3@tohoku.ac.jp